

17 弓 道

- 1 期 日 6月3日(金) 監督会議・競技役員打合せ 12:20 米沢市営弓道場遠的射場
 6月3日(金) 開始式・矢渡し 13:20 米沢市営弓道場近的射場
 団体・個人予選(1回目)
 6月4日(土) 団体・個人予選(2・3回目) 9:00
 個人準決勝・決勝 16:00
 個人表彰式
 6月5日(日) 団体準決勝・決勝 9:00
 納射(男女優勝校代表)
 閉会式 14:30
- 2 会 場 米沢市営弓道場 [米沢市塩井町塩野1503番地 TEL0238-21-8923]
- 3 競技種目 近的競技 男子の部・女子の部 団体競技・個人競技
- 4 競技規則 全国高等学校弓道大会競技規則および全日本弓道連盟競技規則による。
- 5 競技方法
- (1) 団体競技
- (ア) 予 選 各自12射, 計60射を行い, 的中上位より男女各8団体を通過とする。
 (イ) 準決勝 各自8射, 計40射を行い, 的中上位より男女各4団体を通過とする。
 (ウ) 決 勝 リーグ戦で行う。同中の場合は各自1本ずつの競射を行い, 勝敗を決定する。また, 同率の場合は総的中数により順位を決定する。総的中数も同数の場合は各自1本ずつの競射を行う。
 (エ) その他 ①準決勝, 決勝リーグ戦の立順は抽選による。
 ②決勝リーグ戦, 同中競射1本目は予備矢を使用する。
- (2) 個人競技
- (ア) 予 選 各自12射を行い, 男子は9中以上, 女子8中以上を予選通過とする。
 (イ) 準決勝 各自4射を行い, 男女とも3中以上を準決勝通過とする。
 (ウ) 決 勝 射詰競射により順位を決定する。
 (エ) その他 ①団体競技の予選に出場する選手は個人競技の予選を兼ねる。
 ②予選・準決勝の通過者の人数によっては, 上記の通過的中数を下回っても順位決定のための競射等を行う場合がある。
 ③男子準決勝, 女子準決勝, 男子決勝, 女子決勝の順に試合を行う。
 ④最上位より順に決まるように試合を運行する。
 ⑤的は36cm霞的とする。但し, 個人決勝競射において, 4射目までの的中が続いた場合, 5射目以降は24cm星的を使用する。
 ⑥最上位者および東北高等学校弓道選手権大会出場者を決定する場合に限り射詰とし, その他は遠近法による。
- 6 参加資格 (1) 基本要項に準ずる。
 (2) 各地区予選を通過した団体・個人及び前年度県新人弓道大会で優勝した団体とする。

	団体		個人	
	男子	女子	男子	女子
置 賜	5校	5校	1名	1名
村 山	6校	7校	1名	1名
最 北	2校	2校	1名	1名
田 川	2校	3校	1名	1名
飽 海	3校	3校	1名	1名
前年度県新人大会優勝校	1校	1校		
計	19校	21校	5名	5名

7 参加制限

- (1) 団体競技のチーム編成は、監督1名、選手7名以内とし、先発メンバーは参加申込記載順の5名とする。
- (2) 個人競技のみの編成は、監督1名選手1名の計2名とし、団体競技のメンバーにはエントリーできない。
- (3) 団体監督…1校より男女とも参加の場合は、監督を別々にする。
個人監督…1校より団体にも参加する場合及び男女とも個人に参加する場合は同一人が兼ねても良い。

8 参加申込及び宿泊申込 基本要項に準ずる。

9 表彰及び上位大会選考

- (1) ①表彰は基本要項に準ずる。
②皆中賞（予選12射皆中）、射道優秀賞（男女各1団体、各1個人）を与えることができる。
- (2) ①全国高校総体弓道競技会出場枠は、男女共に団体各1校、個人2位まで。
②東北高校弓道選手権大会出場枠は、男女共に団体各2校、個人上位6名まで。

10 連絡事項

- (1) 練習時間について次のように時間割り当てを行なう。下記の時間以外本会場での練習は認めない。

6月3日（金）	10:00～10:30	置賜地区
	10:30～11:10	村山地区
	11:10～11:30	最北地区
	11:30～11:50	田川地区
	11:50～12:10	飽海地区

- (2) 四ッ矢及び予備矢を持参のこと。矢返しはしない。
- (3) 立順の変更は認めない。監督会議を含め、選手の交代は3回認める。
- (4) 行射は坐射とする。
- (5) 服装は次のとおりとする。
ア 練習及び競技とも、弓道衣は白、袴は黒または紺の無地、白足袋を着用のこと。
イ 学校標識マークを右腰に表示すること。
ウ 鉢巻を使用する場合、無地で長さは肩までとする。リボン・ピアス等の装身具類は着用しない。
- (6) 1団体の行射時間は8分とし、7分30秒で予鈴、8分で本鈴の合図をする。弦切れ、その他の自団体における事故が生じても時間の延長はしない。ただし、審判の指示により競技が停止された時間は制限時間から除外する。全ての場合、発射は立の順とする。
- (7) 競技役員は、参加校の顧問がこれにあたる。
- (8) 前年度優勝校（個人も含む）、準優勝校は優勝旗・楯を持参のこと。
男子 団体 優勝 鶴岡工業 2位 楯岡 個人 優勝 菊池豪（鶴岡工業）
女子 団体 優勝 鶴岡中央 2位 南陽 個人 優勝 後藤智絵美（寒河江）